



“命”をつなぐ “生きる”を支える

フードバンクぎふ

【振込口座（会費・寄付金）】
 名義 特定非営利活動法人フードバンクぎふ
 ◇ゆうちょ銀行【店名】二四八
 【口座番号】普通 3 5 7 8 6 5 4
 ◇大垣共立銀行【本店】店番 0 0 1
 【口座番号】普通 1 8 1 0 3 8 3

No.10

2025年8月25日
 発行：NPO 法人フードバンクぎふ
 連絡先：大垣市荒尾町 1490-3
 ☎ 0584-92-1400
 📧 foodbankgifu.jp@gmail.com



2025年度が始まって5カ月経ちました。年を追うごとに気温が上昇し、猛暑の夏はいつまで続くのやら。気温と物価が上がっても、給料と給付費はなかなか上がらない。上がるのはエアコン稼働による電気代💡 光熱費が減る 涼しい秋が早くきてほしいですね。



物価高 大学生生活支える 岐阜協立大学内での食料品配布活動!

昨年までは大学周辺で行っていた食料配布の活動を、今年度から北方キャンパス内で行うことになりました。大学のマイスター倶楽部の学生さんと協力して、5/28、6/18、7/16の3日間、各日、100名程の学生さんにお米や野菜、お菓子などを配布したほか、生活に関するアンケート調査なども行いました。

最終日は、大雨になってしまいましたが、大学施設内を使わせていただいたので、雨に濡れることもなく、無事配布することができました。



2024年度～2025年度 WAM 助成事業 「生活困窮・ひきこもりから、社会参加・就労へのはじめての一步事業」

生活困窮やひきこもりなどの状態で、就労や社会参加・地域の人たちとのつながりから離れている人たち（対象者）が、その状態を解消するための一步を踏み出して、活動に参加・協力したり、就労につなげることを目的に、対象者がサポーターと共に活動する場・働く場を作り出す事業。（対象者には、謝金と食料品をお渡しします。サポーターには謝金をお渡しします。）

昨年度に続き、2025年度も継続&拡大して取り組んでいます。



★活動の場所・機会を探しています!

フードバンク本部ではお米や野菜の袋詰め、食品の運搬や配達のお手伝いなどの作業、知り合いのお寺などの落ち葉掃きや本堂のお掃除、保育園での草取りや窓ふきなど様々な活動の機会を提供していただき、はじめての一步から次の一步に進んでいる方がたくさんみえます。

しかし、まだまだ活動の場所・機会が足りません。お寺や神社、保育園などの様々な施設、畑作業や軽作業など、ちょっと手伝ってもらえたらありがたいと思っただけの場所・機会がありましたらぜひお知らせください。

10代の若者から70代以上の方まで、様々な年代の方がみえますので、その作業ができそうな方とサポーターが一緒に行って作業させていただきます。

どんな作業も貴重な体験の機会になります。



地域としては、東は各務原市、西は関ヶ原、南は羽島市、北は揖斐川町辺りまでを想定しています。

ご協力をよろしくお願いいたします。



大垣西高校の生徒さん来訪

5月15日、大垣西高校の2年生7人が、キャリア探求活動の授業の一貫として、先生と一緒に当団体事務所を訪問されました。この日は、フードバンククイズでフードロスについて学んだり、パワーポイントでフードバンクの活動を紹介した後、実際に食料倉庫など見学してもらいました。

2回目は8月6日に野菜の袋詰め作業などのボランティアに来所。暑い中、枝豆の袋詰め作業などに熱心に取り組んでもらえました。

地元高校がこんな活動に取り組んでおられ、学生さんがフードバンクに興味を持ってくださることはとても嬉しいことです。

最終回は10月2日の予定です。



フードバンクぎふから3つのお願い



①食品寄付を!

困っている家庭に配布する食品の寄付をお願いします。
缶詰・カップ麺・袋麺・レトルト食品など大変ありがたいです。

②寄付金を!

冷蔵庫などの電気代、食品の引取りのための交通費、食品を送るための送料など、支援が増えれば増えるほど、経費が膨らんでいきます。



③ボランティアを!

食品の引取り・配布・精米・袋詰め・箱詰め、入荷データの入力・在庫管理などなど、日々の細かい活動を、できることだけ、少しでも手伝っていただける方を募集しています!

継続的な寄付、多額の寄付 とても助かっています

毎月3,000円、10,000円、毎年5万円、10万円と寄付いただける方々、大変助かっています。食品を安全に保管するための冷蔵庫・冷凍庫などの電気代や、食品引取りのためのガソリン代・高速代などの固定費だけでも年間100万円以上かかってしまいます。フードバンクの活動は、利益を生み出すことが大変難しい活動です。皆さまのご支援をお待ちしています。

緊急に支援を要する家庭が急増!

「フードバンクぎふ」は現在750世帯以上に、定期・不定期に食品を配布しています。それに加えて、新たな支援希望も毎月平均20世帯以上。病気や体調不良・離婚・仕事がうまくいかない・借金など理由は様々ですが、「お金も食べる物もない」という状況でフードバンクを見つけて連絡してみえた方には、『犯罪に走らず、フードバンクを見つけて下さってよかった〜』と思いつつ食品をお渡ししています。お渡しした食品が、命をつなぎ、一歩先に進む力になることを願って…。

でも、ずっとフードバンクの配布食品で生活していくことは無理なので、何かしら次の方法を見つけてください。できることはお手伝いします。

「どんな食品が必要ですか?」と聞いて 購入して寄付して下さる方もみえます

企業の努力によりフードロス食品が減少しています。それは良い事なのですが、そのため、フードバンクに回ってくる食品は少なくなり、配布する食品が不足する事態が続いています。

そんな中、個人で寄付いただける方や、フードドライブで集めた食品を持ってきて下さる会社や団体が増えていて大変助かっています。

また、「何か購入して寄付したいが、今、何が足りませんか?」と問い合わせ、購入して寄付して下さる方もみえます。もちろんそこまでではなく、自宅でのフードロス食品を寄付していただけるだけでも充分です。

ご協力をお願いします。



←佛倉望工業さん
夏休み前にとたくさんのカップ麺を買って寄付してくださいました。いろいろ大変だけれど、こうして仕事ができるのも地域のおかげ、地域にお返ししたいと定期的に寄付いただいています。

ボランティア 増えてきました!

フードバンクぎふの本部には、支援を求める電話やメールがどんどんきます。曜日を決めて本部に入ってくる方や、土日なら協力できるという方が増えて、食品の管理や配布などの作業でとても助かっています。

しかし、各地区での食品配布のボランティアは、高齢化の問題もあって不足しています。50代・60代の皆様、ご協力よろしくをお願いします。



【生活保護とフードバンク】

フードバンク活動に関わり始めた10年前には、市の担当課から、「生活に必要な基本的な食品は保護費で賄えるはずなので、お米や副食などをフードバンクから支援する必要はない。嗜好品やぜいたく品なら支援してもらっていい。」と言われたことがあります。

しかし、物価高の近年は、担当課の職員から「生活保護の方なのだが、困っているので食品を渡してほしい。」と連絡をもらうことが増えてきました。それは、現制度では『健康で文化的な最低限度の生活』ができてないってわかってるってことだよねと矛盾を感じつつ、本人からの連絡をいただいてから対応しています。保護費、減税、給付金etc、本当に困っている人に、ちゃんと届く施策をお願いしたいです。 Y